

「平成 28年 10～12月期中小企業景気動向調査」結果報告

－ 今年 1年、横ばいで推移 －

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細については別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

- 調査時期 平成 28年 12月 1日～9日
- 調査対象 静岡県西部地域の中小企業 546社
- 回収状況 回収数 542社（回収率 99.3%）
- 調査方法 調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 平成 28年 10～12月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－11.0となった。平成 28年 9月の前回調査（－14.1）と比べて＋3.1ポイントとなったが、今回も概ね横ばい圏内にとどまった。消費税増税後に調査した平成 26年 6月以降は小幅の動きが続いており、今回も同様であった。

②平成 29年 1～3月期の見通し

次回の業況 DI は 1.0ポイント改善の－10.0を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期	→ 次期見通し	
全体	542	-14.1	-11.0	-10.0	
製造業	278	-16.2	-7.9	-7.6	
二輪車部品製造	50	-28.3	-22.0	-8.0	業況DI改善も消費税増税以後は概ね横ばい傾向。明るいコメント、暗いコメントどちらも多い。
自動車部品製造	69	-30.8	-1.4	4.3	業況DI大幅改善、次回はH20年3月以来のプラス水準を見込む。
機械部品製造	53	-25.0	-18.9	-18.9	業況DIやや改善。海外好調のコメントは今回も無し。
楽器部品製造	18	5.9	5.6	-5.6	業況DI横ばいで2四半期連続のプラス水準、受注堅調のコメント多し。
繊維製造	24	-24.0	4.3	4.3	業況DI改善も消費税増税以後は概ね横ばい傾向。明るいコメント、暗いコメントどちらも多い。
卸売業	66	-17.5	-10.8	-13.6	業況DIは2四半期連続の改善。
小売業	53	-22.6	-39.6	-22.6	業況DI、卸売とは対照的に悪化。個人消費低迷に関するコメント多し。
建設業	64	-9.7	-4.7	-1.6	業況DI改善、12月は例年改善傾向にあり。次回も改善見通し。
不動産業	41	2.5	-7.3	-7.3	業況DI、2四半期連続の悪化、1年ぶりにマイナス水準に転じる。
飲食・宿泊・レジャー等	12	-18.2	-50.0	-33.3	業況DI、2四半期連続の悪化。大河ドラマ、外国人宿泊者に期待。

本件のお問い合わせ先

特非) 静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510
〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2丁目 7-1 浜松商工会議所会館 5階